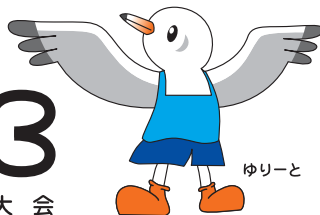


東日本大震災復興支援

スポーツ祭東京2013

第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会



これまで広報紙でシリーズにてお伝えしてきました「スポーツ祭東京2013山岳競技会」が、いよいよ本番を迎えます。市では初めての国体開催です。ぜひ皆さんお誘い合わせの上、スポーツセンターにご来場ください。

いよいよ本番!! 東久留米市が国体の山場となる

山岳競技会

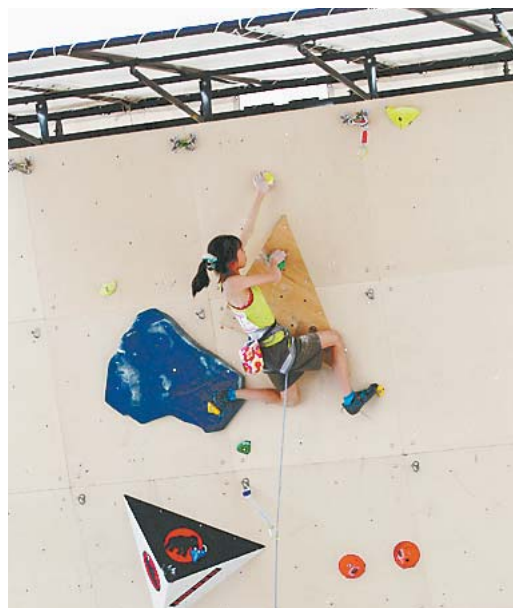
【日程・会場】10月4日(金)～6日(日)、スポーツセンター
(山岳競技会日程の詳細は、今号に折り込みの別紙でご案内をご覧ください)



各選手が挑む、巨大なリード壁
(スポーツセンター屋外に設置)



【お願い】山岳競技会当日は、臨時駐車場を第四小学校跡地(上の原二丁目)に設けますが、東久留米駅と会場を結ぶ無料シャトルバスや徒歩、自転車で来場いただきますよう、ご協力をお願いします



命綱を付けて15mの壁に挑む「リード」



命綱を付けずに5m程度の壁に挑む「ボルダリング」

《今号の主な内容》今号の紙面数は12面です
・26年度税制改正の主な内容をお知らせします
・25年度事務事業見直しのための仕分け」を実施
・第43回市民文化祭」を10月19日(土)から開催
・「ファミリー・スポーツフェスティバル」を開催

6
9
7
面
面
面
面
面
面

この機会をお見逃しなく!

国体は、基本的に各都道府県の持ち回りで開催されています。次に東京に国体がやってくるのは半世紀後かもしれません。この貴重な機会をお見逃しのないよう、多くの方の来場をお待ちしています。
競技などの詳細は、今号に折り込みの別紙でご案内をご覧ください。全ての実施競技、各市区町村競技会場、スタンプラリーなどについては、「スポーツ祭東京2013」ホームページ(<http://www.sports-saitokyo2013.jp/>) および会場や駅で配布されるパンフレット、観光ガイドをご覧ください。

【2面】今年の「総合防災訓練」は11月2日の土曜日に開催します

【12面】「南沢獅子舞」が10月13日の日曜日に実演されます



東久留米市で日本一が決定

東久留米市では、正式競技の一つである「山岳競技」を開催します。一部の競技などでは、予選と決勝を別々の市で行うこともあります。山岳競技は予選から決勝まで、全てスポーツセンターの特設会場で実施されます。まさに日本一が、ここ東久留米市で決定するところまで、ご覧いただけます。

市では多くの団体、小・中学校、市民ボランティアの皆さんの力を結集して、この国体の開催に万全を期します。

より多くの市民参加のもと、関わった皆さんの連帯感を醸成するとともに、ご来場の皆さんとも一緒になって、スポーツの力を地域に還元していきたいと考えています。



山岳競技とは

国体で実施される山岳競技は、リード(15mの人工の壁を命綱を付けて登り、最高到達点を競います)とボルダリング(高さ5mくらいの比較的低いウォールに4つの課題を設け、制限時間内にいかに多くの課題でゴールまで登れるかを競います)の2つの競技があります。

山岳競技は、まだ一般認知度が高いとは言えません。しかし、最近では市内でもボルダリングジムが多く開設されたり、オリンピックの公式種目選考でも最終選考に残ったりするなど、これからますます発展していく可能性を秘めた競技です。

毎年世界各国で行われている世界大会でも、日本人選手が頻繁に入賞していて、日本の山岳競技レベルは世界の中でも上位にあると言えます。今回の国体でも、このような高いレベルの戦いが目の前で展開されることでしょう。



競技会場での「おもてなし」

競技当日は、市内の小・中学校や老人クラブで育成した花が会場を華やかに彩り、各都道府県に向けて中学生が作成した「応援のぼり」が選手たちを力づけます。

また、全国から集結する選手団のおもてなしとして、会場近くにはいくつもの市内の食糧店や記念グッズ店のテントが並びます。もちろん来場する皆さんも、飲食ができる広場になります。5日・6日は、ふるまい料理(数量限定)もあります。当日は東久留米駅から会場を結ぶシャトルバスも運行します。

